

箕曲地域防災訓練

『伊勢湾台風来襲から60年』

～命を守るための防災意識を高めよう！

今年には伊勢湾台風来襲から60年です。甚大な被害にあったことを風化させるのではなく、当時の様子と現在の状態とを比べながら、近年の各地での台風・豪雨による被害の教訓を生かし、防災意識の高揚を計ります。

●地域災害本部の設置・運営

●通信・伝達訓練

●避難訓練①安否の確認、災害時要援護者の支援

②避難所開設訓練、地域防災の点検

●避難所箕曲小学校体育館において「防災講演会」

・伊勢湾台風体験談 ・津地方気象台長「命を守るために」

11/16(土)

9:00～

【当日の流れ】

◇9:00前 ○地域づくり委員会・地域住民

- ・地域災害対策本部を設置（箕曲市民センター）会長他
- ・豪雨などの状況を防災ラジオ・防災メール・広報車等で情報収集
- ・非常持ち出し品の準備をしておく（避難準備）

◇9:00 ○地震が起きたと想定

- ・机やテーブルの下に入り、地震の揺れが収まるまで待つ
- ・火を使っていれば消す ・家族の安否を確認する

○市災害対策本部より箕曲地域災害対策本部に無線通信

- ・地域災害対策本部より各地区に伝達（会長→各地区区長）
- ・各地区区長→小場長・班長より→各世帯に伝達

○地域住民・組長・班長（地域住民は伝達来るまで自宅）

- ・伝達があり行動開始（時間を控えておく）ガスを閉め、戸締りをする
 - ・近所と安否を確認しながら、誘い合い ※一時避難場所に行く
- ※班・組単位で集合場所をあらかじめ決めておく

（例：広場・〇〇さん家の前など）

【安否確認、危険回避、単独行動をせず、複数人まとまって行動する】

災害時要支援者「高齢者、障がい者、妊婦・乳幼児のいる世帯など介添えを必要とする世帯」（あらかじめ世帯の把握と誰が担当か決めておく）



（裏面につづく）

◇一時避難所より、まとめて箕曲小学校へ移動する。(車での移動可、運動場に駐車)

◇9:30 ○箕曲小学校体育館(避難所の開設・運営)※今回は受付のみ

○体育館は開設済(地域担当職員・他)

○各地区より報告

- ・班長(組長)は避難安否状況、避難状況を受付に報告する
- ・避難者名簿の作成(受付用紙は事前に配布予定)
- ・各地区避難所リーダー班長(組長)⇒(小場長)⇒区長⇒会長

(箕曲地域災害対策本部)

- ・箕曲地域災害対策本部⇒市災害対策本部に報告(時間控える)
- ・受付終了後、資料等配布
- ・伊勢湾台風のパネル展示を閲覧



◆箕曲小学校体育館での防災講演会

①伊勢湾台風体験談【地域・保護者・箕曲小1～6年生】

- ・栗田隆之さん(夏見)当時12歳
- ・川口秀憲さん(瀬古口)当時13歳
- ・川合滋さん(箕曲中村)当時7歳

②専門家がみる伊勢湾台風【地域・保護者・箕曲小4～6年生】

- ・気象庁津地方気象台長 黒川美光さん

「命を守るための危険度分布～あなたや家族を守るために」

③災害についての話し合い

(危険箇所、危険な状態はあるか、どのように回避するか、等)

④防災意識クイズ(賞品:備えよう防災グッズ)

◇11:30ごろ 訓練終了予定



○後日各区において

- ・訓練の振り返り(反省、意見、感想)

(危険箇所、危険な状態はあるか。どのように回避するか等、今後の地域防災対策をマップ作りに生かす。)